

来週は3月、卒業式まで2週間となりました。相変わらずコロナ禍に振り回される日々ではありますが、先週は県立高等学校の一般出願、今週は出願変更の受付やフレックス特別選抜の出願があり、3年生の入学試験関係も概ね県立高等学校の学力検査を残すのみとなりました。

「有終の美を飾る」という言葉がありますが、本校を巣立つ3年生の皆さんはもとより、一つ上の学年に進級する1・2年生の皆さんも、今年1年の成長を振り返り、進学・進級後の学校生活がより一層充実するよう、最後までしっかり取り組んでほしいと考えております。

## ◇「あいさつ運動」の取組から

現在、生徒会本部役員と生活安全委員を中心として、登校時に「あいさつ運動」を実施しています。また、昨年末に実施された来年度の生徒会役員選挙では、「あいさつ運動」の充実を公約に掲げた候補者もおりました。これは、学校において、生徒が安心して楽しく一緒に学ぶために、挨拶がとっても大切だからです。



学校で生徒は、先生方や友人、先輩後輩、来校された外部の方々などと様々な挨拶や言葉を交わします。例えば、朝の「おはようございます」、給食の際の「いただきます」「ごちそうさまでした」、相手に何か迷惑をかけた際の「ごめんなさい」、相手に何かしてもらった時の「ありがとう」、来校された外部の方に「こんにちは」、教職員や外部の方から指導していただく際は始めに「よろしく願います」、そして下校時は「さようなら」などです。

家庭ではどうでしょうか。子供が出かける時の「行ってきます、行ってらっしゃい」、帰宅した時の「ただいま、おかえり」などがあります。これらにはそれぞれ意味があります。(様々な説あり)

「行ってきます」は「行って必ず帰ってきます」という約束の言葉、「行ってらっしゃい」は「行ったら必ず帰ってらっしゃい」という相手の無事を祈る気持ちが言葉になったとのことです。「ただいま」は「ただ今無事に帰りました」という報告の言葉、「おかえり」は、「よく帰ってきたね、よかったね」という相手が無事で本当にうれしい気持ちが言葉になったものだそうです。

何気なく使っている一つ一つの言葉や挨拶にはこのように深い意味があります。そして、このように言葉の奥にある素晴らしい意味を改めて知ると、何だか

この言葉を使うたびに気持ちが温かくなり、今まで以上に相手のことが大切に思えるように感じます。

言葉一つで仲良くなったり、相手を傷つけたりすることもあります。学校では、言葉の遣い方、素晴らしさ、大切さ、重さなどを学年に応じて指導しています。家庭でも紹介した言葉の意味について話題にしてみてもいいでしょうか。

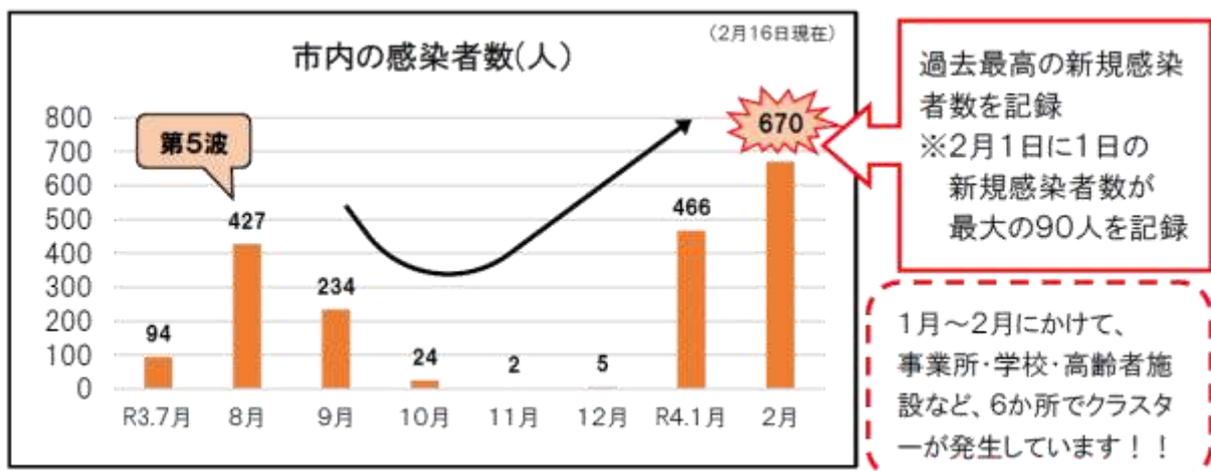
### ◇まん延防止等重点措置の期間延長に伴う感染症対策の徹底について

佐野市教育委員会から、2月21日(月)にさくら連絡網(学校安全情報メール)を通して通知があったとおり、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、栃木県に適用されていた「まん延防止等重点措置」が3月6日(日)まで延長されることになりました。

つきましては、以下の点にご留意いただくとともに、部活動休止期間の延長や、感染リスクの高い教育活動の制限の延長について、ご理解とご協力をお願いいたします。

以下は、佐野市役所感染症対策室作成の広報資料からの引用です。

#### 【佐野市の現状】



#### 【お願い】

■ 基本的な感染対策を継続してください。

※同一テーブル・同一グループ 4人以内、2時間以内

○ 手洗い・マスク着用・換気

× 密集 × 密接 × 密閉

■ 不要不急の都道府県間の移動は極力控える

■ ワクチン接種された方でも、マスク着用や消毒の徹底

■ 発熱、せきなどのかぜ症状がある時は、早期受診を!

▶ かかりつけの医療機関

▶ 栃木県受診・ワクチン相談センター

☎ 0570-052-092

(24時間・土日祝も対応)